

株 式 会 社 エ ー ワ ン 精 密

2020年6月期・第2四半期決算説明資料

2020年6月期・第2四半期決算説明資料目次

	ページ
(1) 当社の事業について	
① 当社の事業展開	1
② 事業内容・特色	2
③ 自動旋盤用カム部門	3
④ コレットチャック部門	4
⑤ 切削工具部門	5
(2) 決算について	
① 決算の概要	6
② 損益の状況	7
③ 財務の状況	8
④ キャッシュ・フローの状況	9
(3) 今後の事業展開	
① 自動旋盤用カム部門	10
② コレットチャック部門	11
③ 切削工具部門	12
(4) 添付資料	13

当社の事業展開

経営理念

高品質な製品をより低コスト、短納期で
顧客のニーズに応え製品を提供する

ものづくりに不可欠な工具を扱う

利益を出せる事業を行う

業界のトップを狙える事業を行う

事業内容

自動旋盤用カムの製造・販売（昭和45年～）

コレットチャックの製造・販売（昭和51年～）

切削工具の再研磨及び特殊切削工具の製作（平成11年～）

事業領域

旋盤による旋削加工・フライスによる切削加工に使用される消耗工具に特化

機械により素材を削り出し精密な部品加工する根幹となる製造工程に的を絞っている

工具の中でも使用される状況に応じて種類・形状が多岐に亘り製造に手間のかかる工具

他社との差別化・当社の特色

多品種で手間のかかる工具に1本から高品質・短納期対応する

直販比率が高く製造・販売両面で利益を享受できる

15,000社以上の顧客からリピートオーダーが入る

自動旋盤用カム部門

カム式小型自動旋盤で使用するカムの設計・製作・販売

- ・同じ部品を大量に効率的に生産できる機械
- ・単品、大量生産部品がアジアなどの海外生産に移行してから機械自体が製造されていない
- ・カム式機械を使用する顧客からの受注に対応

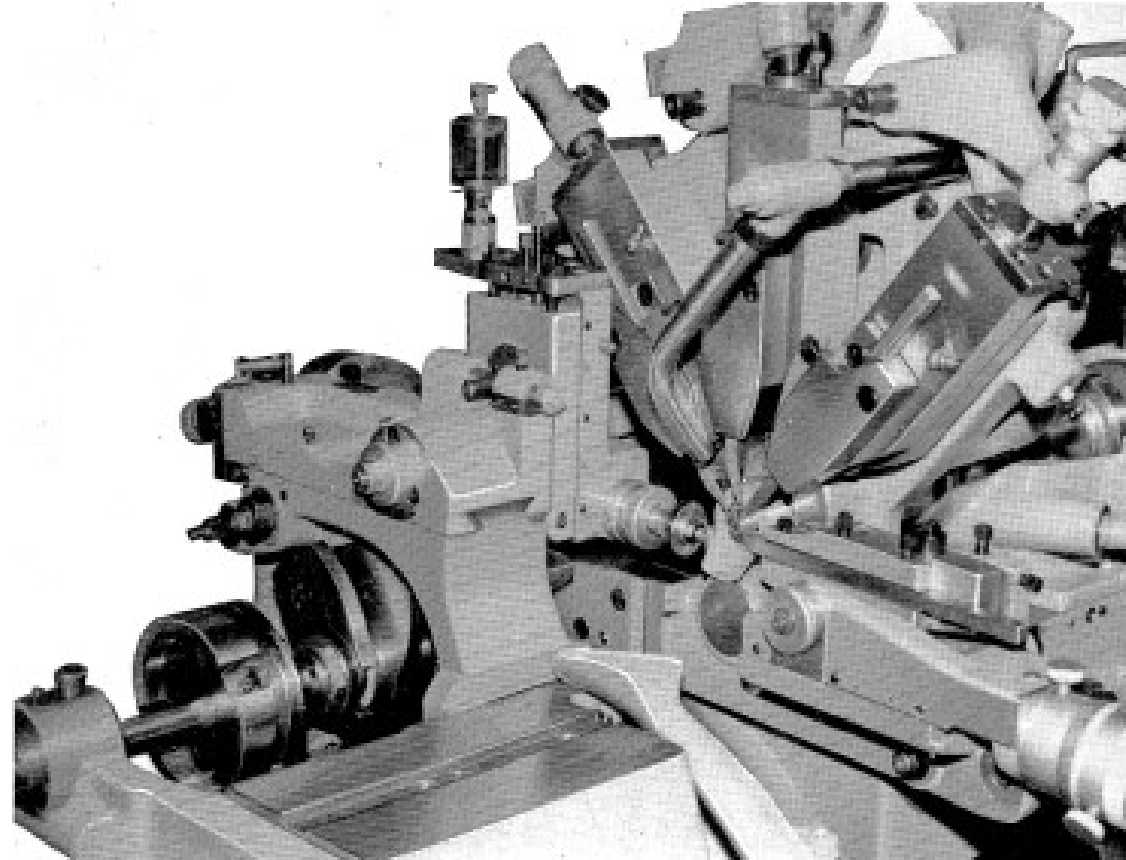
製品写真



カム式自動旋盤(型番:NS-P1053)



カム取付後写真



コレットチャック部門

主に小型自動旋盤で使われるコレットチャックの製造・販売

コレットチャックが主に使われる機械

NC旋盤 3,197億円(2019年生産額) 19,585台

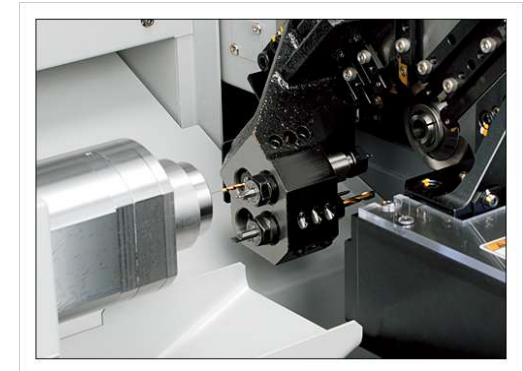
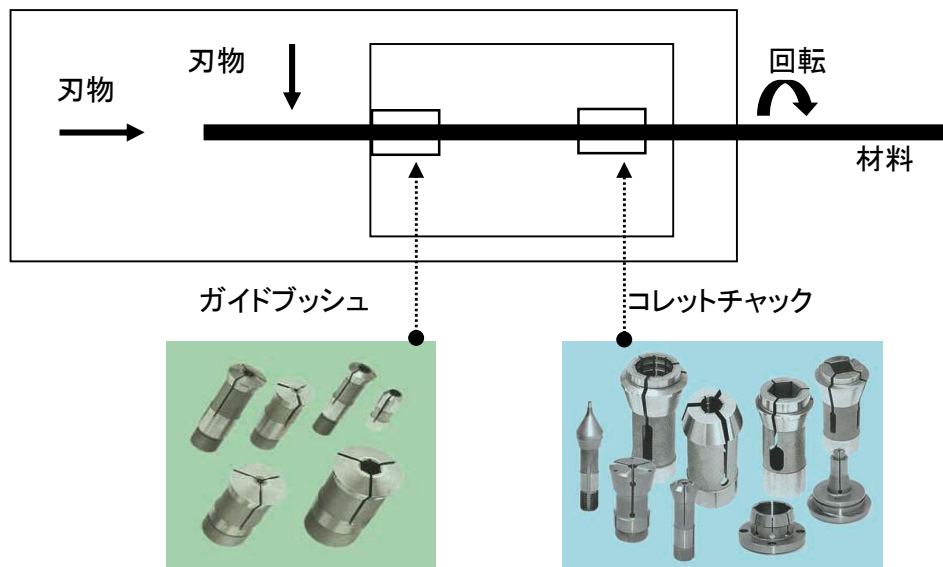
うち 小型CNC自動旋盤約 1,797億円(2019年推定生産額)

主な小型CNC自動旋盤メーカー

シチズンマシナリー、スター精密、ツガミ、高松機械

特殊コレットチャック

専用機 842億円(2019年生産額) 3,410台



加工部品

精密機械、産業機械、電子部品、半導体、自動車、航空機、医療機器など



切削工具部門

金属等の切削部品加工に使用される工具の製作・再研磨

加工のイメージ



主に切削工具を使用する機械

マシニングセンター	1,852億円(2019年生産額)	14,517台
NCフライス、中ぐり盤	176億円(2019年生産額)	820台

使用される工具

超硬エンドミル	545億円(2019年生産額)
超硬ドリル	423億円(2019年生産額)
その他超硬工具	353億円(2019年生産額)

主なマシニングセンターメーカー

オークマ、ヤマザキマザック、森精機、牧野フライス
キタムラ機械、安田工業、松浦機械、東芝機械
三井精機、三菱重工など

加工部品のイメージ



- ・材料を固定し、切削工具が回転して材料を切削して部品形状を作る
- ・小物から大物まであらゆる部品加工に使用される
- ・ロットのある部品の場合、特殊切削工具で量産加工することが多い

加工部品

一般機械、自動車、精密機器、電子部品、航空機、金型



2020年6月期・第2四半期累計期間 決算概要

売上	製造業の事業環境悪化に伴い、国内外企業の業績が悪化し、当社の売上高も減少した。自動車はじめ電子部品、工作機械など総じて低調となり、当社の受注にも影響を及ぼした。
原価	コスト要因に大きな変化はなく通常の範囲内の動きとなった。
利益	売上高が減少したため利益率も低下。

人件費

(千円)

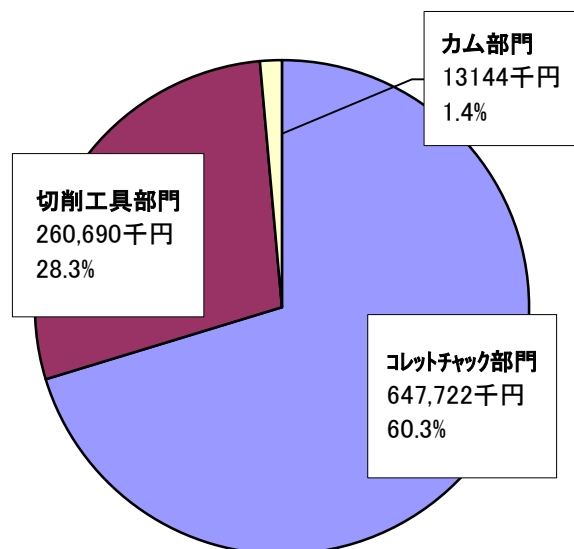
	前第2四半期(累計)	当第2四半期(累計)
労務費	404,415	371,756
コストに占める比率	55.6%	55.3%

設備投資額と減価償却費

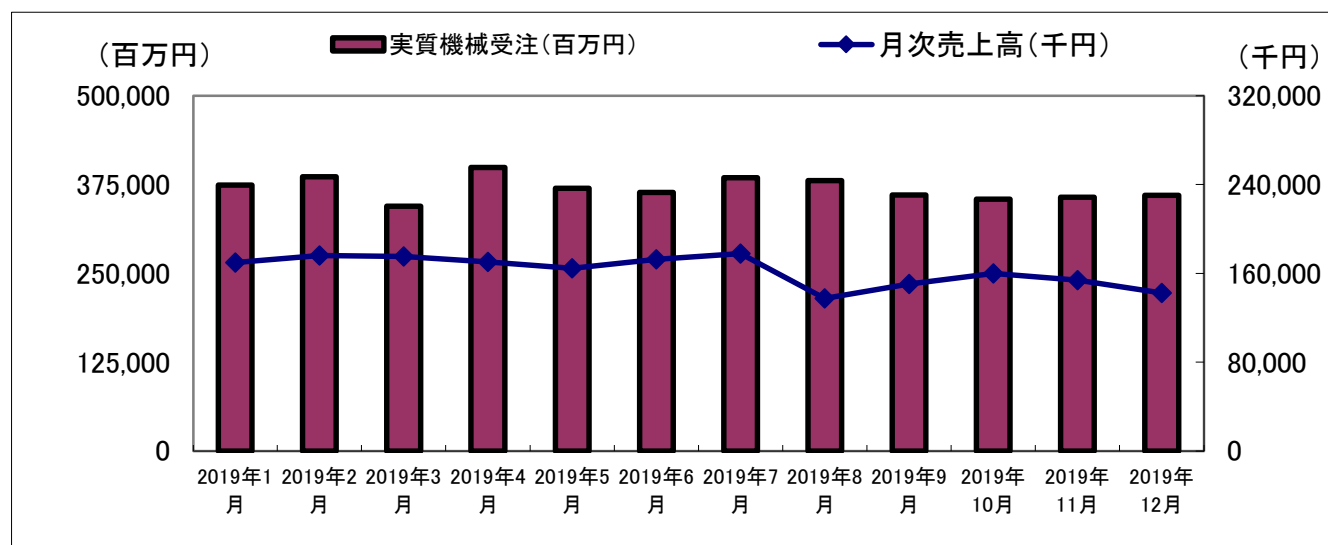
(千円)

	前第2四半期(累計)	当第2四半期(累計)
設備投資額	27,443	69,943
減価償却費	85,087	85,291

部門別売上構成比



実質機械受注と月次売上高



2020年6月期・第2四半期 損益の状況

(単位：千円)

	前第2四半期(累計)			当第2四半期(累計)			増 減 要 因
		売上構成比	前年同期比		売上構成比	前年同期比	
売上高							
コレットチャック	749,910	71.0%	108.6%	647,722	70.3%	86.4%	自動車、電子部品など全般的に販売が低迷し、量産部品加工が減少し、当部門の売上も減少した。
切削工具	293,050	27.8%	101.9%	260,690	28.3%	89.0%	量産部品、生産設備など総じて低調となり、その影響を受けて当部門も売上減少した。
自動旋盤用カム	12,644	1.2%	103.8%	13,144	1.4%	104.0%	既存顧客からの受注があり、売上微増となった。
合 計	1,055,605	100.0%	106.6%	921,557	100.0%	87.3%	
売上原価	574,816	54.5%	103.4%	534,319	58.0%	93.0%	特殊要因はなく経常的な推移となった。
売上総利益	480,788	45.5%	110.6%	387,237	42.0%	80.5%	
販売費及び一般管理費	152,461	14.4%	104.8%	137,839	14.9%	90.4%	
営業利益	328,327	31.1%	113.5%	249,398	27.1%	76.0%	売上高減少分だけ利益率は低下した。
経常利益	334,270	31.7%	112.2%	254,614	27.6%	76.2%	
当期純利益	230,423	21.8%	98.9%	176,214	19.1%	76.5%	

2020年6月期・第2四半期 財務の状況

(単位：千円)

事業年度 資 産	前事業年度末		当第2四半期		主 な 増 減 要 因
	金 額	構成比	金 額	構成比	
現預金	6,758,282	75.1%	6,775,244	75.6%	
売上債権	449,266	5.0%	384,752	4.3%	売上債権 64,513千円減少
棚卸資産	202,109	2.2%	212,996	2.4%	
その他流動資産	△ 279	0.0%	620	0.0%	
固定資産	1,596,671	17.7%	1,590,908	17.7%	
資 産 合 計	9,006,050	100.0%	8,964,523	100.0%	
負 債 ・ 資 本					
買入債務	17,074	0.2%	16,745	0.2%	
その他流動負債	285,962	3.1%	218,306	2.4%	未払金 37,955千円、未払法人税等 33,796千円減少
固定負債	475,417	5.3%	485,978	5.4%	退職給付引当金等の増加。
負 債 合 計	778,454	8.6%	721,030	8.0%	
純資産合計	8,227,595	91.4%	8,243,492	92.0%	
負債・純資産合計	9,006,050	100.0%	8,964,523	100.0%	

2020年6月期・第2四半期 キャッシュ・フローの状況

(単位：千円)

	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)	対前年同期比 増減額	主 な 増 減 要 因 (対前期比)
営業活動によるキャッシュ・フロー	324,348	254,577	▲ 69,771	主な増加要因：税引前当期純利益 254,687千円 減価償却費 85,291千円 主な減少要因：法人税等の支払額 112,878千円
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 427,540	▲ 70,471	357,069	主な減少要因：定期預金等の払戻による収入 399,945千円
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 167,883	▲ 167,295	588	主な減少要因：配当金の支払い額 167,295千円
現金及び現金同等物の増減額	▲ 271,074	16,809	287,883	
現金及び現金同等物の期末残高	653,232	937,866	284,634	

今後の事業展開 ～ 自動旋盤用カム部門

事業展開

- ◇カム式自動旋盤(すでに製造中止)は単品大量生産向きで少量ながらカムの需要は継続
- ◇将来的には減少傾向

競合状況

- ◇3千5百万円弱の市場規模で既存の中小企業が継続している

当社の事業展開

- ◇既存の償却済設備と現状の人員で対応
- ◇低コスト製造を徹底

今後の事業展開 ～ コレットチャック 部門



小型CNC自動旋盤用コレットチャック

推定市場規模 25～30億円

メーカー 4社程度

その他 専用機コレットチャック

メーカー 3、4社程度

<今後の方向性>

- ◇小型精密部品の分野では今のところ代替する加工方法は少ない(コスト、時間などを考慮して)
- ◇世界的に小型精密部品に要求される精度、加工難易度は厳しくなる傾向

<国内の状況>

- ◇CNC自動旋盤 シチズンマシナリー、スター精密、ツガミ3社で世界の大半を占めている
- ◇国内で推定 12 ～ 13万台の機械が稼働している

<当社の対応>

- ◇加工部品に合わせた顧客ごとのオーダー品のコレットチャック対応
- ◇増大する高精度コレットチャック需要に対応した設備・人材の確保・拡充

今後の事業展開 ～ 切削工具部門

対象企業	主要加工内容	切削工具の状況		当社の受注	競合状況
大手メーカー 自動車・重電・航空機など 100社程度	量産部品加工 小ロット大物加工	切削工具内製、外部購入(工具商社経由) 社内再研磨、メーカー再研磨		× △	内製、グループ会社 切削工具メーカー 再研磨会社 150社程 全国規模 4～5社 地域型、個人経営 工具商社系 特注切削工具 大手メーカー 10社程度 中小規模メーカー 数十社
準大手・中堅メーカー 従業者100名以上 13,000社程度	量産部品加工	市販切削工具 特注切削工具	再研磨外注 外部購入	○ ◎	
中小加工企業 18万社程度	単品加工 設備・治具、金型 小中ロット加工	市販切削工具 市販切削工具 特注切削工具	再研磨外注 再研磨外注 外部購入	○ ◎ ◎	

＜市販切削工具の例＞ 再研磨

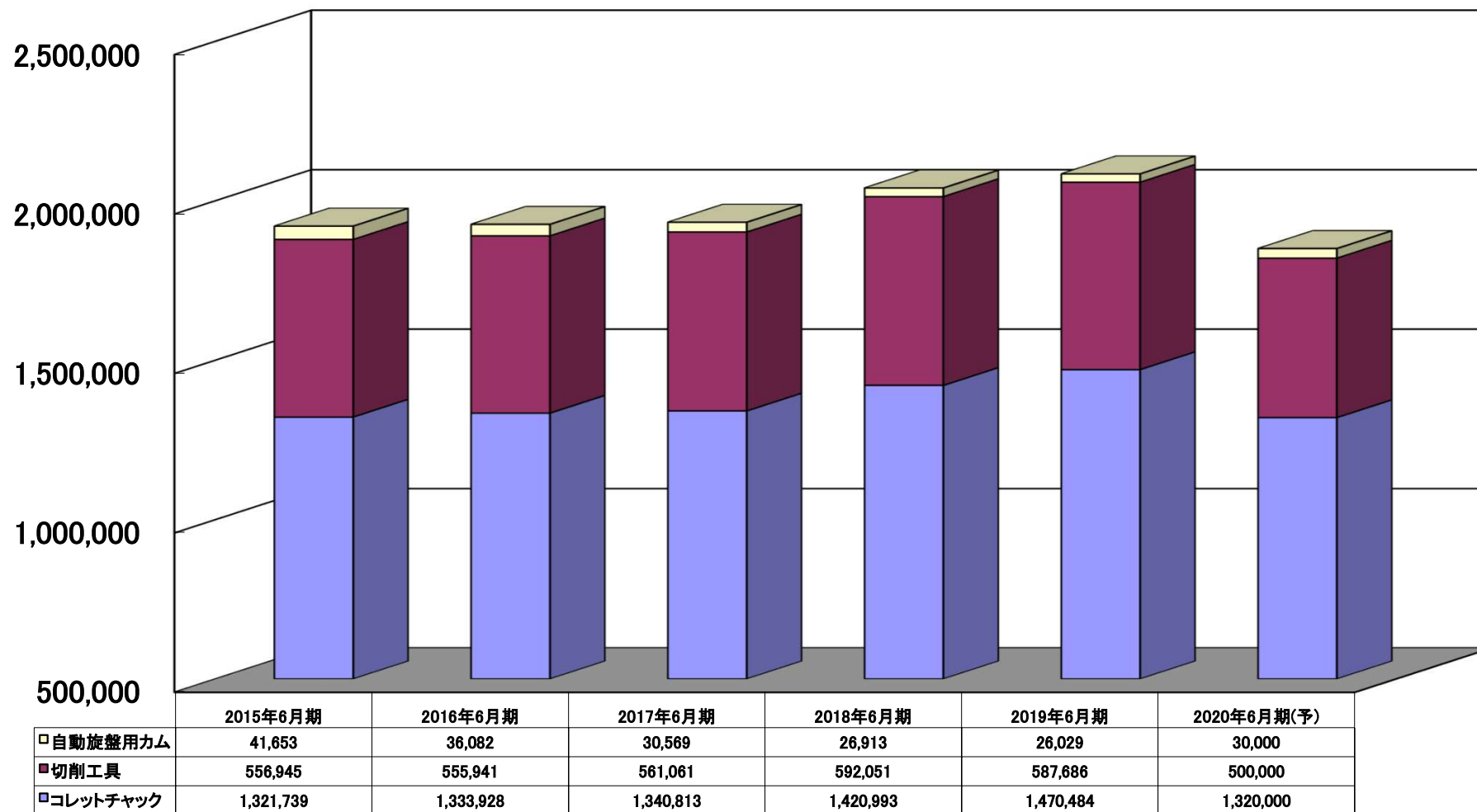


＜特注切削工具の例＞ 製作および再研磨



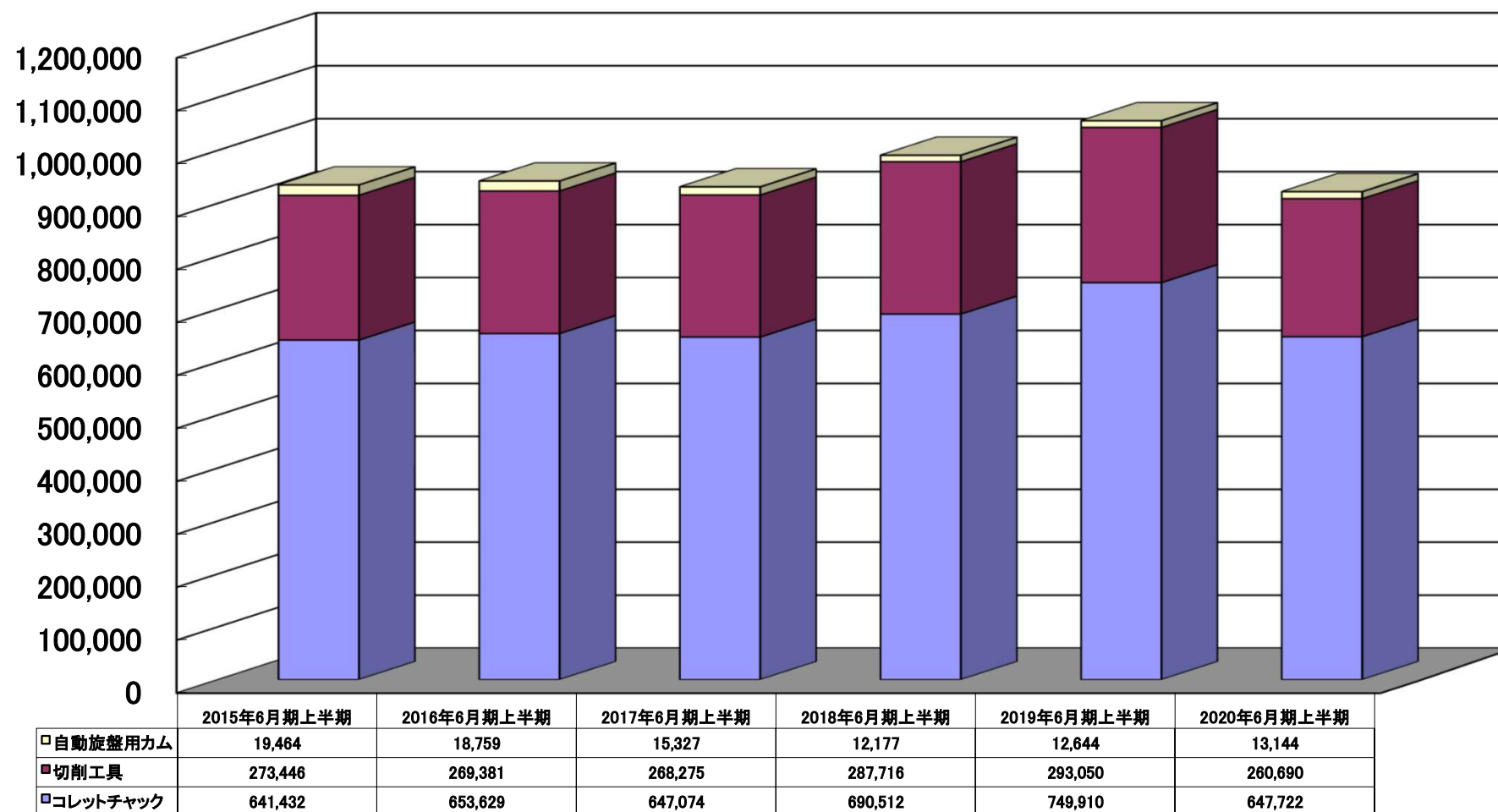
部 門 別 売 上 状 況

(単位：千円)



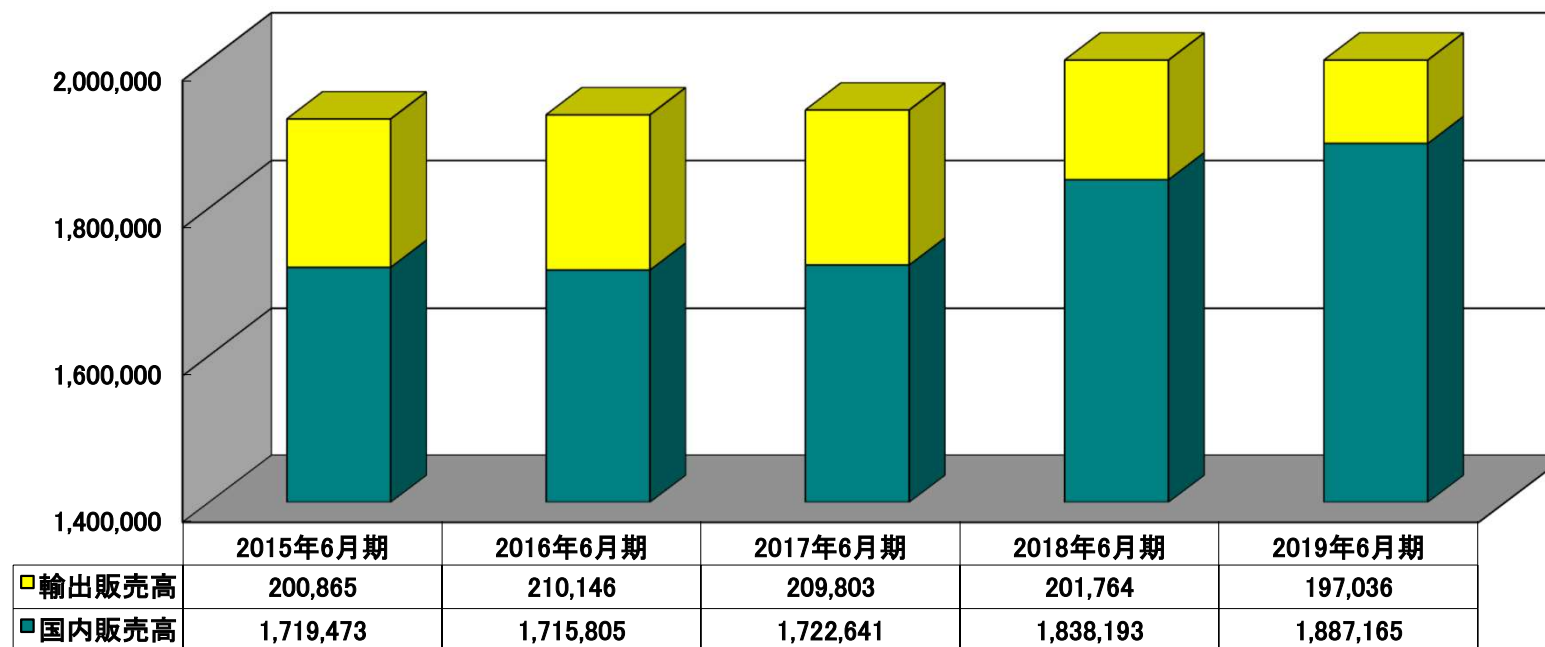
上半期部門別売上状況

(単位：千円)



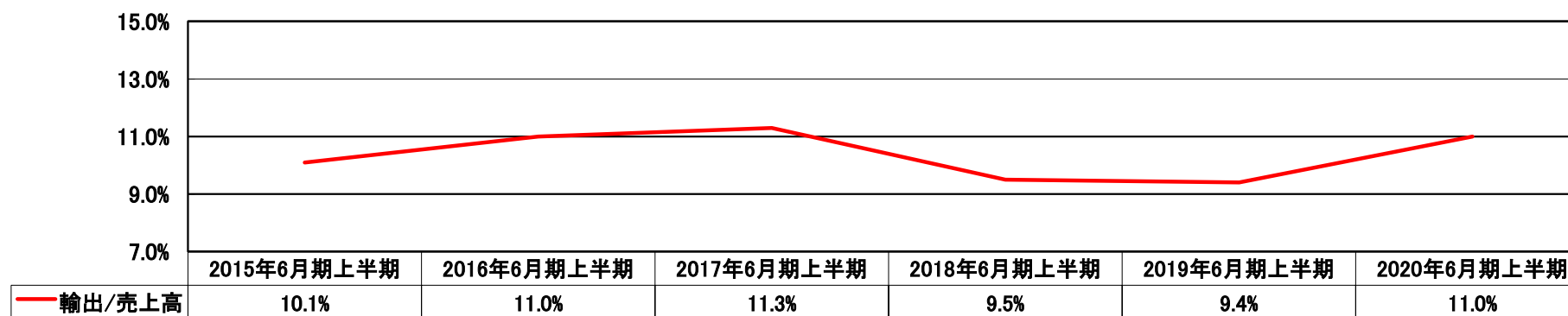
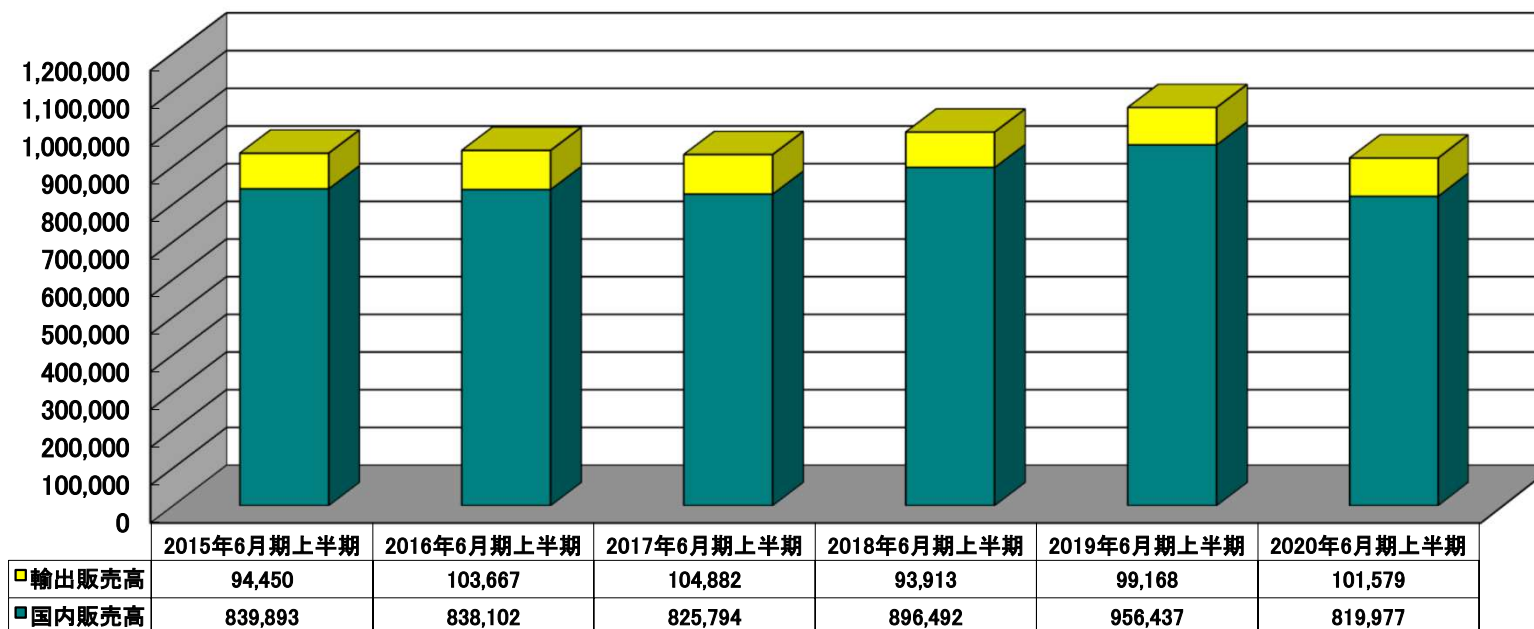
輸 出 売 上 状 況

(単位：千円)



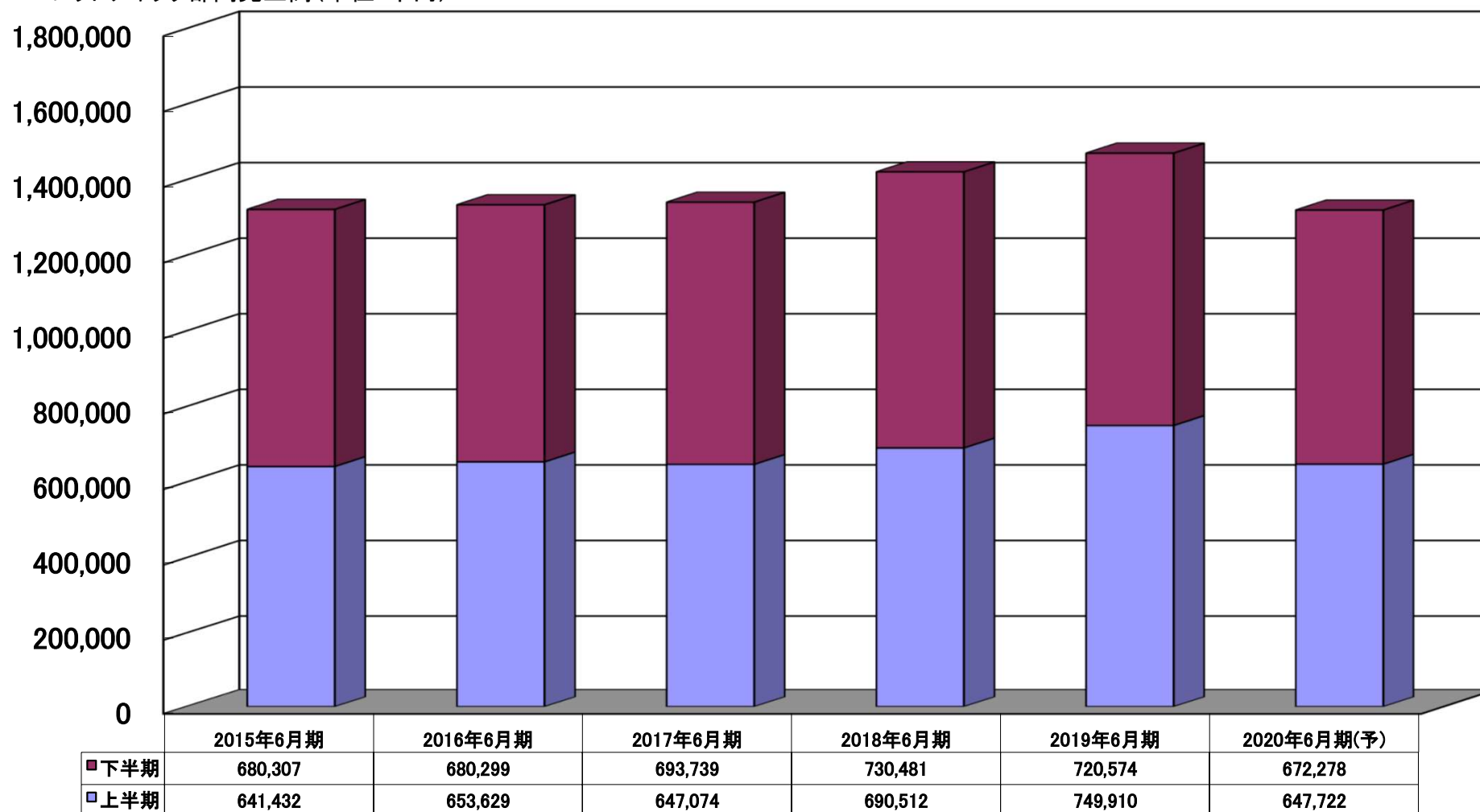
上半期輸出売上状況

(単位：千円)



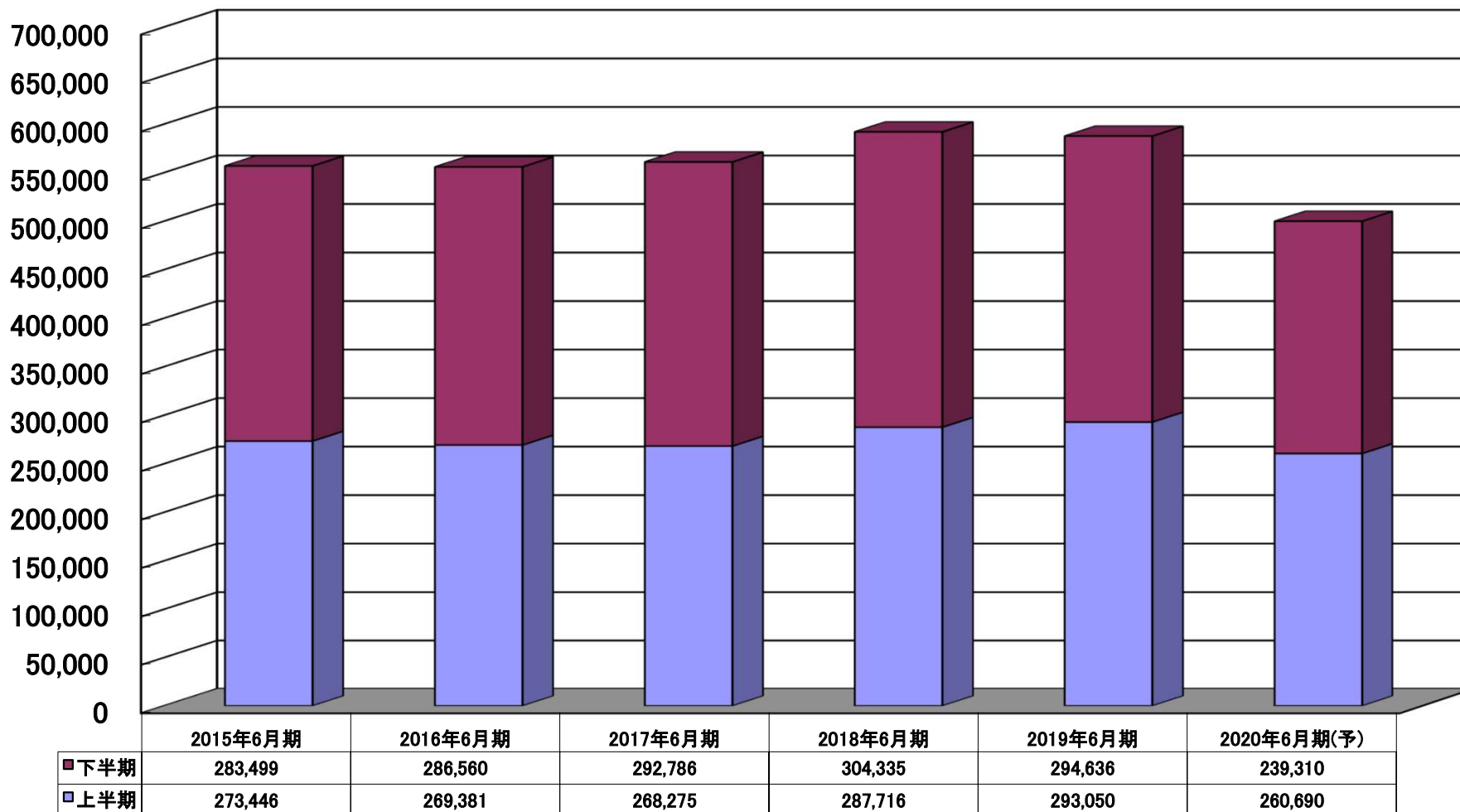
部門別状況 ～ コレットチャック部門

コレットチャック部門売上高(単位:千円)



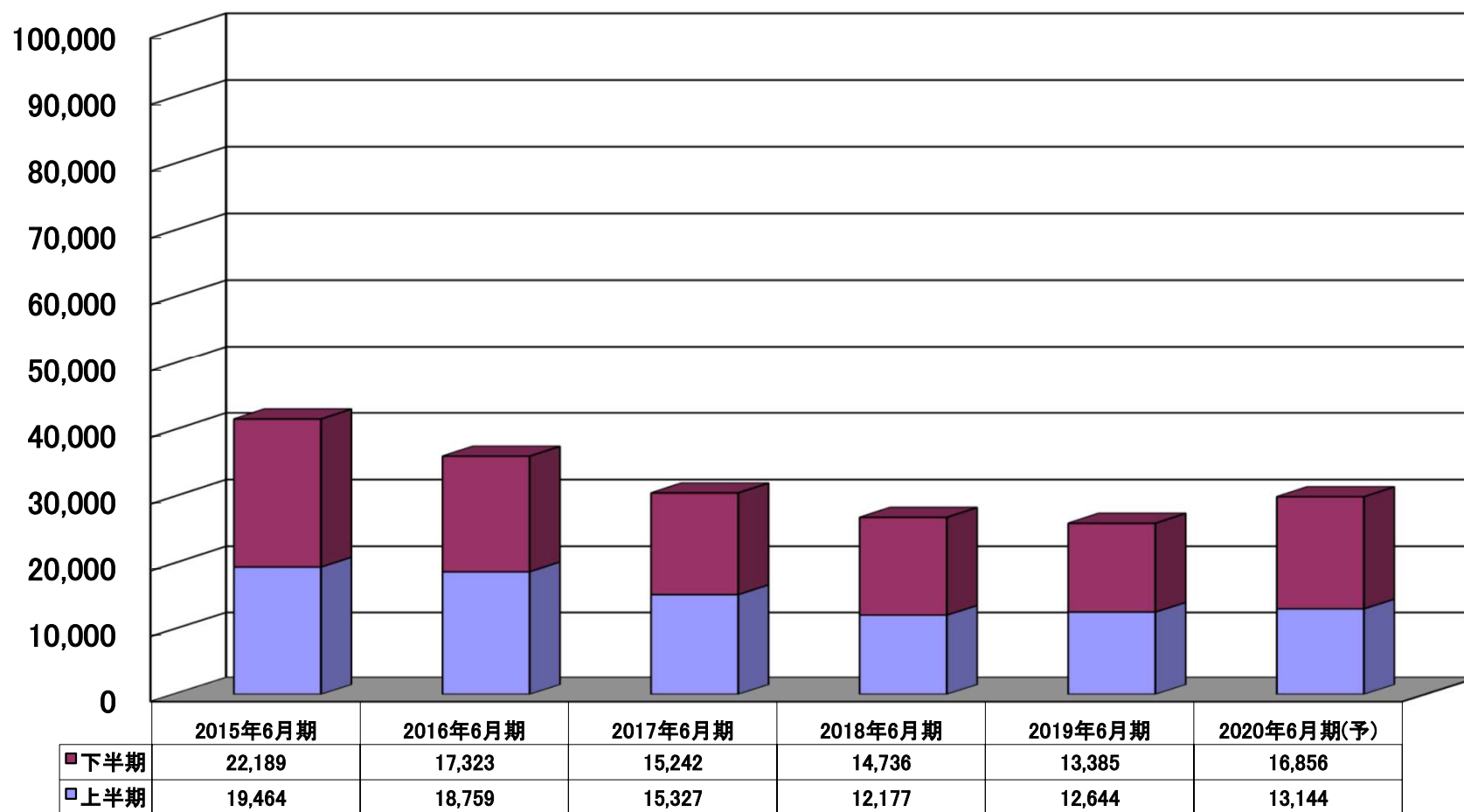
部門別状況 ～ 切削工具部門

切削工具売上高(単位:千円)



部門別状況 ～ 自動旋盤用カム部門

カム部門売上高(単位:千円)



設 備 投 資 と 減 価 償 却 実 施 額

設備投資額 (単位:千円)	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
上半期	75,203	76,444	28,977	27,443	69,943
通 期	98,321	222,346	197,196	78,360	120,000(予)

減価償却費 (単位:千円)	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
上半期	94,827	87,109	83,285	85,087	85,291
通 期	195,071	181,786	175,564	175,961	175,991(予)

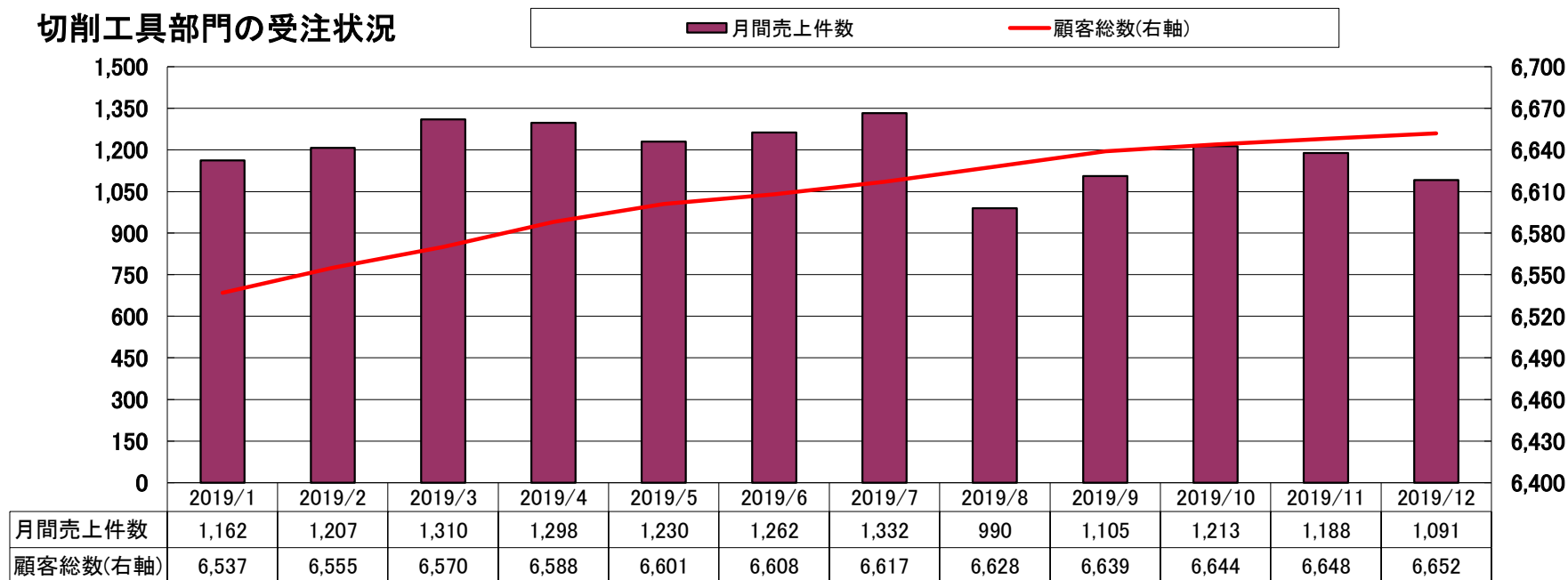
切削工具部門の戦略と受注状況

受注体制(人材、設備、社内オペレーション)を万全にする

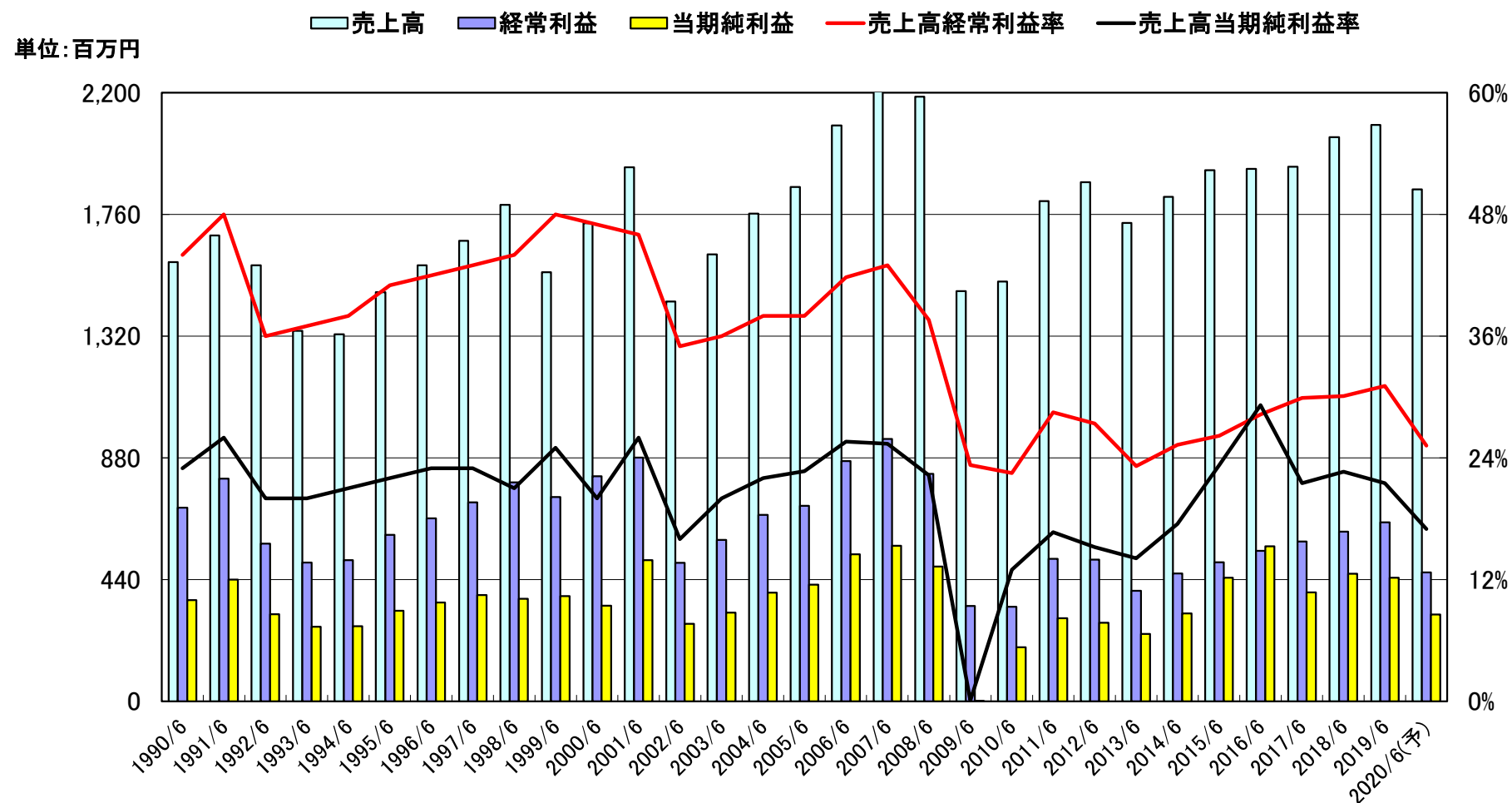
新規設備導入により特殊ものへの対応を強化する

営業地域拡大し認知度向上と地域浸透度を高める

切削工具部門の受注状況



業 績 の 推 移



実質機械受注と月次売上高

